

番号	2 - 4	申請者	つくし1病棟 看護師 川口 博美
<p>【審査申請課題】 後弓反張のある重症心身障害者への安楽なポジショニングの導入 — 前傾側臥位への取り組み —</p>			
<p>【審査課題の概要】 近年、重心看護における看護研究において、腹臥位は最も良い呼吸状態が得られ、筋緊張や反り返りを抑え、腹部の緊張を緩和できると言われている。しかし、体格が大きい場合や骨折、カニューレ抜去などのリスクにより、腹臥位が実施できない患者も多く存在する。当病棟には、体格が大きく、後弓反張があり腹臥位が困難な重症心身障害者2名に対して、完全側臥位を実施している。しかし、側臥位は基底面が少なく、不安定であることから、筋緊張の緩和が不十分なため、SpO₂の低下や発汗が見られている。そこで、筋緊張の緩和が図られ、腹臥位に代わる安楽なポジショニングであると仮定する前傾側臥位の導入を図り、その有用性を明らかにする。</p>			
審査結果	承認 (令和2年5月12日)		

今
研